

緑肥（畑面植生）

休耕期間の農地（裸地状態）に草などを栽培することにより、地表を覆い、降雨による赤土の流出を防ぐ対策方法です。

- ・ 肥料や雑草の抑制などの機能だけではなく、土壌流出を防ぐ役割があります。
- ・ 緑肥（畑面植生）は、赤土流出量の90%程度を軽減する効果があるといわれています。
- ・ 成長が早く、鋤きこむことにより肥料となるような植物を用います。

植物の種類

緑肥（畑面植生）として栽培する植物は、以下のものがあります。マメ科の植物が多く使われています。

植物名	区分	原産地	備考
クロタリリア	草本	インド、ブラジル	一年草
デンセイ	草本	インド	一年草
富貴豆（フウキマメ）	草本	インド	一年草
エン麦	草本	中央アジア、アルメニア	一年草
ソルゴー	草本	熱帯アフリカ	一年草
とうもろこし	草本	中米メキシコ付近	一年草
ギニアグラス	草本	亜熱帯及び熱帯アフリカ	多年草
セタリア	草本	亜熱帯及び熱帯アフリカ	多年草
ローズグラス	草本	南アフリカ	多年草
水土里豆	草本	インド	一年草
ビジョンピー	草本	インド	多年草
ひまわり	草本	北アメリカ	一年草

緑肥（畑面植生）に適した植物



クロタリリア



富貴豆（フウキマメ）



ビジョンピー



ひまわり

植え方

緑肥（畑面植生）は、種まきで行います。種まきは「手まき」や「散布用機械による種まき」で行えるため、作業は簡単です。

植える時期

緑肥（畑面植生）は、サトウキビ当の収穫後に緑肥の種をまいて、赤土の流出を防ぎます。そして、サトウキビ等の植え付け前に鋤きこみます（土をかき回して、草を土の中に入れること）。